








野菜の需給・価格動向レポート(平成24年7月17日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	6月の価格動向			7月の価格動向		生育及び価格の7月の見通し			
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格				
		中旬	下旬				上旬		
葉 茎 菜	キャベツ 	67.2	47	58	74.19	59	・入荷見込量: 14,271t (101) ・主産地: 群馬 (63)、岩手 (12)、茨城 (7)	・群馬産は、好天により順調な生育で作柄も良く、日々出荷量が増加している。平年に比べて前倒し出荷となっているため、平年より多めの出荷となっており、今後も潤沢な出荷の見込み。岩手産は、小玉傾向であったが、最近の降雨により肥大が進み、順調な出荷となり、今後も平年並みの出荷の見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。	
		81.66	58	63	88.91	61	・入荷見込量: 3,600t (101) ・主産地: 群馬 (41)、長野 (39)、茨城 (11)		
	ねぎ (関東: 白ねぎ 関西: 青ねぎ) 	264.1	289	296	273.33	283	・入荷見込数量: 3,995t (100) ・主産地: 茨城 (63)、千葉 (14)、埼玉 (6)、輸入 (8)	・茨城産は、生育が順調で、安定した出荷になっている。今後も平年並みの出荷の見込み。千葉産は、細め傾向で出荷の終盤を迎えていることから、少なめの出荷になっている。 ・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。	
		334.73	381	343	342	313	・入荷見込数量: 210t (99) ・主産地: 香川 (24)、徳島 (20)、大阪 (17)、奈良 (12)、三重 (8)、高知 (7)		
	はくさい 	67.05	41	60	78.06	56	・入荷見込量: 6,065t (101) ・主産地: 長野 (85)	・長野産は、好天により順調な生育で大玉傾向となっており、潤沢な出荷になっている。今後も潤沢な出荷の見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。 (※トピック欄参照)	
		77.96	47	67	88.72	57	・入荷見込量: 2,500t (94) ・主産地: 長野 (96)		
	ほうれんそう 	376.1	363	436	583.95	486	・入荷見込量: 910t (100) ・主産地: 栃木 (30)、群馬 (25)、岩手 (14)、茨城 (13)	・栃木産及び群馬産は、好天により順調な生育、出荷となり、今後も潤沢な出荷の見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。	
		396.89	468	525	670.86	591	・入荷見込量: 440t (117) ・主産地: 岐阜 (85)、北海道 (11)		
	レタス 	120.13	112	138	120.13	99	・入荷見込量: 9,423t (99) ・主産地: 長野 (86)、群馬 (11)	・長野産は、好天により順調な生育で作柄も良く、大玉傾向で潤沢な出荷になっている。今後も潤沢な出荷の見込み。群馬産は、最近の気温上昇により病害が発生し、品質が不安定になっていることから、今後は、やや不安定な出荷となる見込み。 ・長野産の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は平年をやや下回って推移する見込み。	
		132.22	119	143	132.22	98	・入荷見込量: 2,100t (99) ・主産地: 長野 (99)		
たまねぎ 	71.02	103	130	84.85	139	・入荷見込量: 7,977t (91) ・主産地: 佐賀 (41)、兵庫 (22)、香川 (15)、輸入 (4)	・佐賀産は、貯蔵ものの出荷となっているが、定植時の降雨等の影響で平年の7割程度の出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。兵庫産及び香川産も、小玉傾向で少なめの出荷となり、今後も平年より少なめの出荷となる見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。		
	71.02	113	144	84.85	144	・入荷見込量: 2,700t (82) ・主産地: 兵庫 (90)、佐賀 (6)			
果 菜	きゅうり 	189.84	162	241	210.69	221	・入荷見込量: 7,917t (101) ・主産地: 福島 (40)、岩手 (13)、秋田 (12)、埼玉 (6)、宮城 (5)	・福島産は、順調な生育で平年並みの出荷となっている。下旬から8月上旬のピークに向けて徐々に出荷量が増加する見込み。岩手産は、低温、少雨により少なめの出荷となっていたが、最近の降雨により生育が回復し、出荷量が徐々に増加し、下旬がピークで平年並みの出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		177.22	158	246	221.71	231	・入荷見込量: 1,850t (101) ・主産地: 福島 (32)、北海道 (19)、愛媛 (18)、香川 (6)、宮崎 (6)		
	トマト 	209.59	296	313	229.51	318	・入荷見込量: 8,170t (102) ・主産地: 青森 (20)、栃木 (13)、茨城 (9)、福島 (8)、岩手 (7)、群馬 (7)、千葉 (7)、秋田 (6)	・栃木産は、夏秋ものの出荷となり、生育はやや遅れているものの、平年並みの出荷になっており、今後も順調な出荷の見込み。青森産も順調な生育で、下旬には本格的な出荷を迎える見込み。 ・順調な出荷が見込まれるものの、需要が引き続き好調なことから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		228.53	291	311	271.33	339	・入荷見込量: 1,800t (110) ・主産地: 北海道 (28)、岐阜 (21)、石川 (8)、愛知 (8)、岡山 (7)、愛媛 (6)		
	なす 	297.07	356	363	209.55	350	・入荷見込量: 4,674t (99) ・主産地: 栃木 (26)、群馬 (25)、茨城 (23)、埼玉 (7)	・栃木産は、7月に入って生育が回復し、品質も良くなり、出荷量が徐々に増加しているものの、平年より少なめの見込み。群馬産は、平年より少なめの出荷となっている。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		271.01	328	338	221.72	311	・入荷見込量: 1,150t (108) ・主産地: 山梨 (23)、徳島 (16)、大阪 (15)、奈良 (11)、京都 (8)、高知 (8)		
	ピーマン 	251.5	207	216	251.5	236	・入荷見込量: 1,765t (99) ・主産地: 茨城 (63)、岩手 (21)	・茨城産は、出荷の終盤を迎え徐々に減少し、下旬までの出荷となる見込み。岩手産は、春先の低温の影響で生育が遅れていたが、7月上旬の降雨により生育が回復し、下旬のピークに向けて出荷量が徐々に増加する見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		266.65	224	284	266.65	344	・入荷見込量: 360t (106) ・主産地: 高知 (18)、兵庫 (16)、宮崎 (15)、大分 (11)、和歌山 (9)、福島 (8)、愛媛 (6)		
	根 菜	だいこん 	86.59	68	81	94.6	75	・入荷見込量: 8,154t (99) ・主産地: 青森 (46)、北海道 (46)	・青森産は、現在出荷のピークを迎え、生育が遅れていたものの出荷も重なり、平年より多めの出荷となっている。今後も平年より多めの出荷となる見込み。北海道産は、生育遅れが回復して順調な出荷となり、平年より多めの出荷となっている。今後も潤沢な出荷となる見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
			94.24	76	89	100.39	79	・入荷見込量: 3,000t (94) ・主産地: 北海道 (72)、岐阜 (12)、青森 (10)	
にんじん 		133.01	141	146	133.01	184	・入荷見込量: 5,924t (96) ・主産地: 青森 (50)、千葉 (26)、北海道 (20)、輸入 (3)	・千葉産は、中旬までの出荷となる見込み。青森産は、順調な出荷となり、平年より多めの出荷となっているものの、下旬は作付面積が減少している時期の出荷になることから、少なめの出荷となる見込み。北海道産は、春先の低温の影響により生育が遅れ、平年より少なめの出荷になっている。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。	
	132.62	137	156	132.62	214	・入荷見込量: 1,700t (89) ・主産地: 青森 (42)、北海道 (36)、和歌山 (11)、長崎 (7)			

種類	6月の価格動向			7月の価格動向		生育及び価格の7月の見通し
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	
		中旬	下旬			
いも	344	355	441	344	327	・入荷見込量：290t (-) ・主産地：宮崎 (39)、鹿児島 (38)、輸入 (14)、千葉 (8)
	347.9	488	499	347.9	338	・入荷見込量：89t (-) ・主産地：宮崎 (43)、鹿児島 (30)、愛媛 (13)、沖縄 (7)、輸入 (6)
も	131.8	74	76	101.61	84	・入荷見込量：5,861t (102) ・主産地：茨城 (29)、静岡 (22)、千葉 (20)、長崎 (12)
	131.8	80	83	101.61	93	・入荷見込量：3,100t (108) ・主産地：長崎 (41)、北海道 (18)、静岡 (14)、千葉 (13)

- 1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。
- 2) 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)。
- 3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
- 4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。( )内は前年対比。さといもは、前年実績。
- 5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
- 6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

## 2 野菜の需要動向

年	生鮮野菜の購入量及び金額 (1人当たりの購入量、金額)				主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移 (単位:円/kg)									
	過去5か年平均		平成23年		平成24年		キャベツ			レタス				
	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	前年比	金額(円)	前年比	過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)			
1月	4,263	1,528	4,310	1,573	4,189	97	1,634	104	166	230	138	547	690	126
2月	4,403	1,552	4,267	1,629	4,499	105	1,735	107	177	247	140	508	691	136
3月	4,815	1,721	4,867	1,788	4,584	94	1,851	104	188	238	126	461	692	150
4月	4,779	1,812	4,796	1,789	4,620	96	1,904	106	238	262	110	462	513	111
5月	5,109	1,894	5,171	1,820	4,945	96	1,948	107	172	196	114	380	409	108
6月	5,043	1,872	4,904	1,857		0		0	144	117	81	350	266	76
7月	4,441	1,696	4,362	1,759		0		0	160		0	324		0
8月	4,348	1,719	4,392	1,717		0		0	156		0	463		0
9月	4,831	1,804	4,598	1,803		0		0	155		0	562		0
10月	5,262	1,862	5,037	1,884		0		0	161		0	505		0
11月	5,016	1,636	5,091	1,613		0		0	162		0	371		0
12月	5,145	1,834	4,998	1,792		0		0	153		0	453		0

資料:総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

資料:総務省「小売物価統計調査報告」

## 3 野菜の輸入動向

区分	野菜の輸入数量の推移 (単位:トン、%)				主な野菜の輸入動向 (単位:トン、%)			
	平成22年		平成23年		平成24年1~5月		平成24年5月	
	前年比	前年比	前年同期比	前年同月比	前年比	前年同月比	(B)/(A)	
生鮮野菜	820,687	133	915,091	112	478,563	107	86,950	124
加工野菜	1,677,840	107	1,803,510	107	779,076	105	176,711	113
野菜合計	2,498,527	114	2,718,600	109	1,257,639	106	263,661	116
うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,409,984	110	623,260	107	124,653	111
中国産シェア	51		52		50		47	

資料:ページ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

資料:農林水産省「植物防疫統計」。平成24年6月は、速報値である。

## 4 トピック —はくさいの需給動向—

はくさいは、4月上旬までは価格が高騰していたが、中旬以降は入荷量が増加し、概ね平均価格を下回って推移している。

これは、

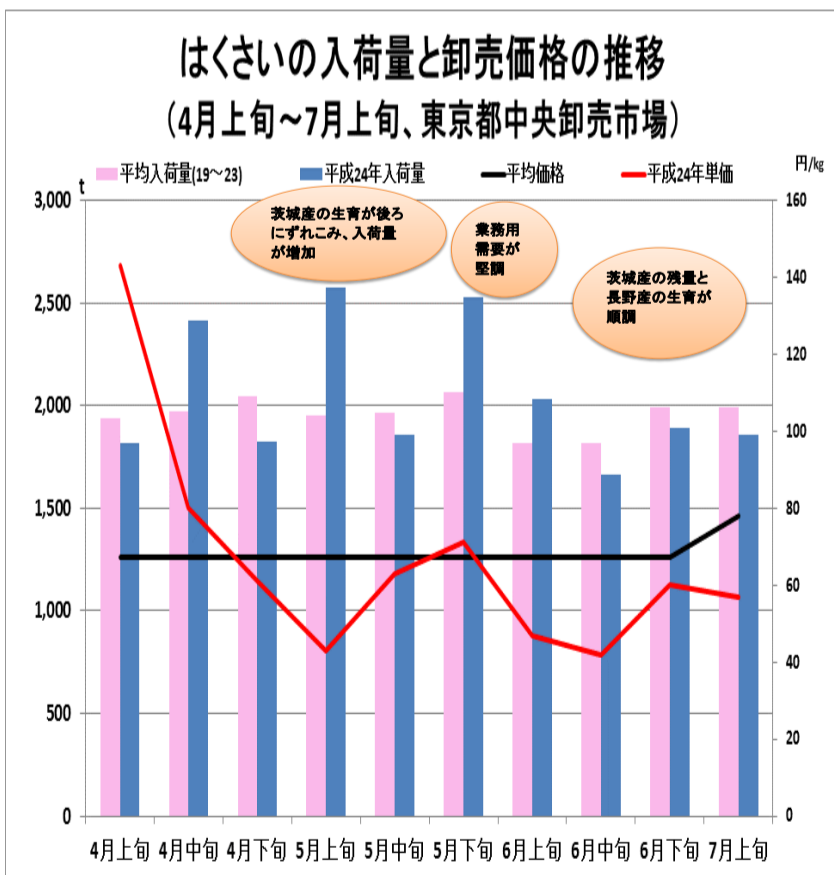
- ① 5月は、茨城産の生育が後ろにずれこみ、入荷量が増えたこと
- ② 6月は、夏場に向けて需要が減少する中で、茨城産の残量と長野産の生育が順調だったことから、安定した入荷量になったことによる。

そうした中、5月下旬に一時的に平均価格を上回る状況となったが、これは漬物の売れ行きに伴い、一時的に業務用需要が旺盛であったことによるものである。

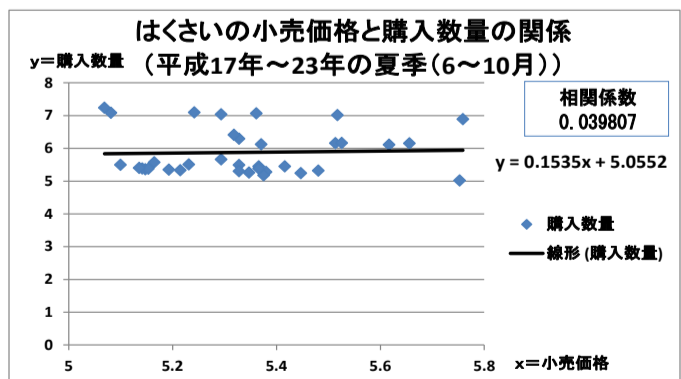
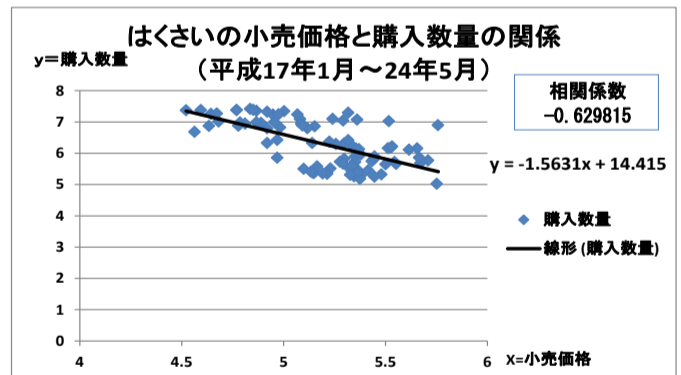
はくさいは、冬の野菜のイメージが強く、夏場の消費が厳しい中で、夏ははくさいの主産地である長野等の生産が順調であることから、価格は今後とも平年を下回って推移すると見込まれる。

なお、はくさいの小売価格と購入数量の関係は、年間を通してみると、価格が安いと購入数量が増加する傾向があるものの、夏季に限定してみると、価格に関係なく購入数量がほぼ一定であることが分かる。

こうしたことを十分に念頭に置いて供給体制を構築することが重要になっている。



資料:青果物情報センター



上図は、平成17年1月~24年5月のはくさいの小売価格(総務省「小売物価統計調査報告」(東京都区部))と購入数量(総務省「家計調査(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」)の相関をみた。

下図は、平成17年~23年の夏季(6~10月)のはくさいの小売価格(総務省「小売物価統計調査報告」(東京都区部))と購入数量(総務省「家計調査(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」)の相関をみた。